～“美研”が制作する～ タッピーの4コマ漫画

Vol.5 レッツゴー語劇祭！



語劇祭の詳細はこちら

制作者：美術研究会／木村（きむら） さくらさん（デザイン学科 3年 福島県 喜多方桐桜高校出身）・馬上（まがみ） 翔（つばさ）さん（デザイン学科 1年 東京都 八王子桑志高校出身）・齋藤（さいとう） 舞花（まいか）さん（デザイン学科 1年 神奈川県 川崎総合科学高校出身）

Editor's Note ～まほろしの表紙案～

B案



C案



Private



ディズニーが大好きなので、月1ペースでディズニーランドに出かけています。そのためにアミューズメント施設でアルバイトを頑張っています！

TACT 裏側

Cover Model

佐藤（さとう） 日和梨（ひより）さん
デザイン学科 2年（東京都 拓殖大学第一高校出身）

課題がとにかく多いですが、大好きなディズニーに関わる仕事に就くことを目標に、日々制作や描画を頑張っています。

TACT公式ホームページ
https://tac.takushoku-u.ac.jp/

「大学からのお知らせ」はここからCHECK!

［SNSはこちら］
X（旧Twitter） @takushoku_Univ
YouTube Takushoku University 拓殖大学
Facebook https://www.facebook.com/TakushokuUniversity
Instagram @takushoku_univ

次号は2月1日発行予定です。

この冊子に関する、ご意見・要望は「広報室」までお願いします。
なお、「学報TACT」は保証人住所宛てにお届けしており、ホームページからもご覧になれます。

【保証人の皆様へ】
保証人の方の送付先変更は電話では受け付けておりませんので、学生本人が学務課に直接届け出てください。

2030 NEW ORANGE
UNIVERSITY ACCREDITED 2022.4～2029.3
FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C002724

TACT VOL.391 2023/2024 12-1
学報 タクト | Dec 2023-Jan 2024_VOL.391 2023年12月1日発行 ［広報室］Tel:03-3947-7160（直通） E-mail:web_pub@ofc.takushoku-u.ac.jp Web:https://www.takushoku-u.ac.jp

拓殖大学

あたらしい自分が見つかる！拓大生活応援メディア

TACT 学報 EXTRA

特集

声援を力に！
女子陸上競技部 活躍のいま

世界の舞台に立つ！ 在学生・卒業生

拓大のいま
拓殖大学教育ルネサンス2030
「紅陵祭」開催レポート
Graduate Interview
馬淵 史郎 さん
Graduate Interview 特別編
親子企画：馬淵 史郎 さん × 馬淵 烈 さん
麗澤会News
「大学入学共通テスト」実施に伴う入構制限
令和5年度学生表彰受賞者
拓殖大学×朝日新聞「朝日教育会議2023」
～“美研”が制作する～
タッピーの4コマ漫画
裏側TACT

Yourself Discover

12-1
2023-2024 VOL.391

声援を力に! 女子陸上競技部 活躍のいま

いよいよ駅伝シーズンが開幕。女子陸上競技部は12月に行われる富士山女子駅伝への出場が決定。みんなの声援を届けましょう!

みんなで応援しよう!

富士山女子駅伝 出場決定!!

［2023全日本大学女子選抜駅伝競走］

2023.12.30 フジテレビ系列（テレビ静岡）で午前9時50分から生中継

出場チーム

1. 第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の参加を希望する上位12チーム
2. 5000m 7名の記録による10チーム
   ※対象記録は、2023年4月1日～2023年12月3日に出した記録かつ電気計時の記録のみ有効。
3. 全日本大学選抜チーム
   全国8地区学連からの選抜チーム
   ※各地区学連からは原則として1名以上を選出し、チームを編成。
4. 静岡県学生選抜チーム
   静岡県内の中学校・高校を卒業した選手、または静岡県内の大学・大学院に在学する選手で編成

監督 Interview

全日本大学女子駅伝対校選手権大会、12位

全日本大学女子駅伝は、体調不良から回復を十分に発揮してくれたので、予想していたより分の成長を感じることができ、次に繋がるレース来年は優勝をめざします。

富士山女子駅伝は総合5位以内を目標に!

このチームの魅力は選手の層の厚さ。全員思いで、日々練習に励んでいます。富士山女子駅伝のコースは、高低差174mにおよぶ起伏にとんだ7区間・全43.4km。「総合5位以内」という目標達成に向けて、よい状態で準備ができていると感じます。応援、よろしくお願いします。



五十嵐（いがらし） 利治（としはる）監督

PICK UP 梅木優子選手（国際学科4年）がシドニーハーフマラソンで優勝

かすみがうらマラソン2023で10マイル女子の部の優勝者である梅木選手が提携大会のシドニーハーフマラソンへ出場し、見事に海外初制覇しました。3km地点から独走体制のまま安定した走りを見せ、2位以下を大きく離して1時間17分36秒でフィニッシュしました。

梅木選手コメント「海外のレースで慣れないこともありましたが、今までで1番楽しいハーフマラソンでした! きつい時も現地の方の応援があったので、粘ることができました。この経験をいかせるように、また頑張っていきたいと思います!」



Information 女子陸上競技部富士山女子駅伝壮行会開催のお知らせ

2023.12.4（月） 13:10-13:40 文京キャンパスE館前





※全日本大学女子駅伝壮行会の様子

意気込み 富士山女子駅伝に出場が期待される選手たちに を聞きました!



伊井 萌佑子（いい まゆこ）選手
国際学科 4年
（千葉県 八千代松陰高校出身）

最後にみんなが笑顔で終われるよう、4年生として結果を残し、必ずチームの力になります。



梅木 優子（うめき ゆうこ）選手
国際学科 4年
（神奈川県 湘南台高校出身）

4年間の集大成となる大会なので、走りでチームの力になれるように頑張ります!!



土井 菜摘（どい なつみ）選手
デザイン学科 4年
（千葉県 市立船橋高校出身）

大学最後の駅伝、走りでチームに貢献し、全員笑顔で終わります!



不破 聖衣来（ふわ せいら）選手
国際学科 3年
（群馬県 高崎健康福祉大学高崎高校出身）

たくさんの声援に結果で応えられるよう、チームに貢献する走りをします!

主将



門脇 奈穂（かどわき なほ）選手
国際学科 3年
（宮城県 仙台育英学園高校出身）

去年の悔しさを晴らせるようにしっかり調子を合わせ、個人でもチームでも5位以内をめざして頑張ります。



片桐 紫音（かたぎり しおん）選手
国際学科 3年
（埼玉県 川口市立高校出身）

富士山女子駅伝ではさらに調子を万全にして挑み、総合5位以内をめざします。



新井 沙希（あらい さき）選手
国際学科 2年
（神奈川県 秦野高校出身）

去年は区間2位だったので、今年は区間賞をとってチームの目標達成に貢献できるよう頑張ります。



古澤 日菜向（ふるさわ ひなた）選手
国際学科 2年
（佐賀県 佐賀清和高校出身）

富士山女子駅伝では支えてくださる方に走りで恩返しします。



山田 愛（やまだ あい）選手
国際学科 2年
（群馬県 高崎健康福祉大学高崎高校出身）

辛かった事も悔しかった思いも任された区間で出し尽くして終わります!



池主 茉弥（いけぬし まひろ）選手
国際学科 2年
（福岡県 自由ケ丘高校出身）

去年の自分を超え、得意のスピードをいかした走りでチームに貢献できるように頑張ります。



小野 真緒（おの まお）選手
国際学科 1年
（茨城県 茨城キリスト教学園高校出身）

冷静かつ大胆で積極的な走りをしてチームを勢いづけることができるようにします。区間上位と入賞をめざします。



岩崎 麻知子（いわさき まちこ）選手
国際学科 1年
（福島県 学法石川高校出身）

富士山女子駅伝こそは、チームの目標を達成できるように自分自身もっともっと強くなって貢献します。



赤羽 真衣佳（あかはね まいか）選手
国際学科 1年
（長野県 長野東高校出身）

感謝の気持ちを大切に、全日本のリベンジと想いを込めた襷リレーで入賞を勝ち取ります。

第41回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会の結果

宮城県仙台市
2023.10.29

［リザルト］ 総合12位 2:10:03

区間（距離）	選手名（学年）	総合記録		区間記録	
第1区（6.6km）	小野 真緒 （1年）	21:51	［5位］	21:51	［5位］
第2区（4.0km）	岩崎 麻知子（1年）	34:54	［3位］	13:03	［3位］
第3区（5.8km）	古澤 日菜向（2年）	54:15	［5位］	19:21	［11位］
第4区（4.8km）	門脇 奈穂 （3年）	1:10:40	［6位］	16:25	［6位］
第5区（9.2km）	新井 沙希 （2年）	1:43:22	［11位］	32:42	［23位］
第6区（7.6km）	片桐 紫音 （3年）	2:10:03	［12位］	26:41	［16位］

最新トピックスをご紹介!

拓大のいま

2023年後期におけるトピックスをご紹介いたします。

1 ライフセービング部 人命救助により千葉県御宿町から感謝状贈呈

8月28日(月)に、ライフセービング部の部員が千葉県御宿海水浴場にて、1つの浮き輪につかまり沖に流されていた4人の男子高校生を救助しました。この功績に対し、9月15日(金)、千葉県御宿町より、感謝状が贈呈されました。主将の加藤さんは「ライフセーバーとして海水浴場での人命救助という当たり前のことをしたまでですが、その当たり前を本番で100%発揮できたのは、今までの練習や経験がいきた結果だと思います。これからも自分たちの活動に誇りと自信を持って成長していきたいです」とコメントしました。また、この活動により令和5年度の学生表彰にて「特別奨励賞」を受賞しました。ライフセービング部は、1991年より毎年、夏季期間(7~8月)に千葉県御宿海水浴場にて監視活動に携わり、安全で安心な海水浴場の確立に努めています。




2 学生アドバイザーによる就職相談会を実施

10月10日(火)~19日(木)、文京キャンパスの就職課にて、就職活動を終えた4年生が自身の就職活動を語り、下級生からの質問に答える「学生アドバイザーによる就職相談会」を実施。当日は、1~3年生より、『就職活動の流れ』や『面接での注意点』『資格取得について』など、積極的な質問がありました。さまざまな業界に進路を決定した4年生たちの話に聞き入り、真剣に話し合いながらも笑い声が溢れる有意義な時間となりました。



3 第30回美濃和紙あかりアート展に学生が作品を出展

第30回美濃和紙あかりアート展が開催され、今年度はデザイン学科生活デザインコースの3年生および阿部研究室と白石研究室の4年生、大学院生より計30作品を出展しました。今年は全国から一般部門に186点の作品が寄せられ、本学の応募作品からはライトアップ賞(古川秀昭賞)1点、入選3点、あかりの町並み賞(奨励賞)10点が選ばれました。応募した全作品は、10月8日(日)~21日(土)、美濃市のうだつのあがる町並みに展示されました。


ライトアップ賞(古川秀昭賞)
「不完全」
牧岡 那真(デザイン学科3年/埼玉県 浦和学院高校出身)

4 大麻・違法薬物乱用防止講習会を開催

麗澤会事務局と学生健康保険委員会の共催による「大麻・違法薬物乱用防止講習会」を9月26日(火)に文京キャンパス、9月26日(火)・29日(金)に八王子国際キャンパスで開催しました。文京キャンパスでは大塚警察署 生活安全課 川口様、八王子国際キャンパスでは高尾警察署 刑事組織犯罪対策課 小野澤様に、昨今、社会問題となっている大学生の大麻・違法薬物の使用や所持などについて、大学生を取り巻く実態や薬物がおよぼす身体への影響と依存性など、事例をふまえて説明していただきました。当日は、課外活動への所属学生を含む約1,500人が聴講し、大麻・違法薬物は絶対に使用しないことを約束しました。




5 留学生が八王子市立緑が丘小学校にて交流授業を実施

八王子市教育委員会の「留学生との交流」事業により、9月26日(火)に留学生(ベトナム2人、中国2人、ベラルーシ1人)計5人が、八王子市立緑が丘小学校を訪問し、6年生42人と交流授業を行いました。交流授業では、担任の先生から進行について説明があり、留学生が英語で自己紹介をしました。その後は児童4~5人のグループに分かれて英語での自己紹介、クイズやミニゲームなどを織り交ぜながら各グループで交流しました。場面に応じて日本語と英語を使い分け、楽しい授業となりました。最後には終わりの会が行われ、児童の皆さんからお礼の言葉があり、「勉強してきた英語が留学生に通じたことが嬉しかった」などの感想がありました。八王子市立緑が丘小学校との交流は初めてでしたが、留学生にとって大変有意義な時間となりました。




6 シンポジウム「没後110年 桂太郎とその精神」を開催

10月7日(土)、文京キャンパスにおいて国際日本文化研究所シンポジウム「没後110年　桂太郎とその精神」を開催しました。シンポジウムでは、元学長・総長の渡辺利夫顧問、人文科学研究所所長の田野武夫政経学部教授、大学院地方政治行政研究科長の澤田次郎政経学部教授がパネリストを、国際日本文化研究所所長の丹羽文生政経学部教授がモデレーターを務めました。パネルディスカッションでは、「桂太郎の時代」と現代との比較にまで話題がおよび、参加者からは「今日における日本の安全保障環境はさまざまな不安定要因が顕在化しているが、桂公だったらこの難局をどう乗り切ると思うか」などの質問が出ました。当日は学部生や大学院生、卒業生に加え、一般の方など多くの方に参加いただきました。



7 八王子国際キャンパスにバリアフリートイレを設置

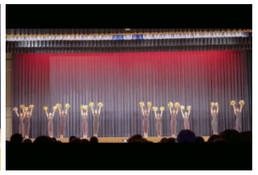
11月6日(月)、八王子国際キャンパスの工学部実験実習工場内にバリアフリートイレが設置されました。




8 チアダンス部が4年ぶりに文化祭公演を開催

拓殖大学第一高等学校

9月17日(日)の文化祭2日目に、チアダンス部が4年ぶりの公演を行いました。全国大会に出場した際の演技に加え、部員たちが曲や振り付け、衣装を一から作り上げた各学年ごとの演技などを披露しました。

9 租税教室を3年ぶりに対面で開催

拓殖大学第一高等学校

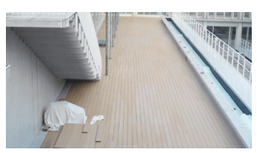
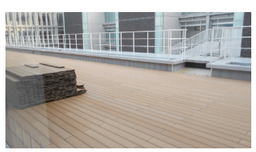
7月19日(水)、多目的ホールにおいて、租税教室を3年ぶりに対面で開催しました。講師には、税理士の先生2人をお招きし、税金の必要性や使途・種類など、税金に関する授業を約1時間行いました。時折、税の問題を出題して生徒が回答する展開となり、生徒達は周りの仲間と回答を考えながら、楽しそうに取り組んでいました。税がより身近なものに感じられる機会となりました。



10 生徒の憩いの場、校舎棟ウッドデッキの改修工事中

拓殖大学第一高等学校

校舎棟の屋上から1階までの中庭にあるウッドデッキの劣化に伴い、改修を行っています。デッキ材は人工木となり、12月下旬に完成予定です。

11 ドローンサッカー部が初優勝

拓殖大学北海道短期大学

9月16日(土)に札幌市で開催された「サツドラ杯 北海道ドローンサッカー大会2023」において、ドローンサッカー部が初優勝しました。ドローンサッカーは専用のボールを使用し、5対5で戦うチームスポーツです。大会当日は部員が一丸となって全4回戦を勝ち抜きました。ドローンサッカー部は農業で導入が進むドローンの操縦免許取得などを目的に昨年9月に発足。今後も積極的に大会に参加する予定です。



12 北短ログハウスプロジェクトを開催 ~秋の農産物販売~

拓殖大学北海道短期大学

地域密着型企画「北短ログハウスプロジェクト」が、10月22日(日)に農産物販売会を開催。当日は生憎の雨模様でしたが、開始前から約150人が列をつくるほどの人気ぶりでした。今回販売したのは、学生たちが栽培・作製したニンジン・ジャガイモ・カボチャ・サツマイモ・生落花生・パウンドケーキなどです。3年目の活動となる本プロジェクトは、地域の皆さんとの積極的な交流を目的に学生たちの多様なアイデアで企画・運営しています。今後もさまざまな企画を計画中です。




13 水稲実習で卒業生の農場などを視察

拓殖大学北海道短期大学

10月18日(水)、水稲農家永野農場と妹背牛町水稲直播研究会を訪問しました。永野農場のご夫婦は環境農学科(現農学ビジネス学科)の社会人卒業生で、現在は雨竜町に新規就農して水稲20ha(ヘクタール)とヒマワリを栽培しています。「就農する前に必要なことは何ですか」という学生の質問に対しては、農業の知識に加え、同じくらいコミュニケーション能力が重要だという意見を述べられました。妹背牛町水稲直播研究会では、会長の長谷浩幸さんと顧問の熊谷勝さんからお話をお伺いし、「近年はスマート技術が普及しているが、水田の稲を見ることは農家の基本であること」、そして「周囲のさまざまな人を農業に取り込むこと」もこれからは大切になってくるとお話しいただきました。




拓殖大学教育
ルネサンス2030

時代が求める「拓 殖人材」育成のために

拓殖人材とは、「国際的な視野」と「タフな人間力」を身に付けたグローバル人材のこと。その育成環境の充実をめざし、学生、教職員や卒業生と連携し、全力で取り組んでいます。

改革改善の取組

政経学部新学科『社会安全学科（仮称）』を設置構想中

2025年4月、八王子国際キャンパスに『社会安全学科（仮称）』の設置を構想しています。近年の社会情勢では災害や事故・事件の多発、感染症の流行、治安の悪化など、社会、地域の安全・安心を脅かす懸念が増大し、未然防止対策が講じられる防犯・防災人材がますます求められています。法律学、政治学分野における社会安全上の理論的・実践的知識を身につけ、グローバル化時代の諸問題を的確に見極め、解決できる能力と意識を持った人材を育成します。

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更となる場合があります。



令和5年度 教職協働ワークショップ・FDワークショップを開催

7月28日（金）に教職協働ワークショップ、9月20日（水）にFDワークショップが開催されました。教職協働ワークショップでは、講師に国立大学法人筑波大学 人間系教授の竹田一則氏をお招きし、本学専任教職員約350人の参加者を得て行われました。講師からは、「『大学における障がい学生支援の基本的考え方と課題』～法的背景と支援体制を中心に～」をテーマとしてご講演いただきました。また、FDワークショップでは講師に早稲田大学理工学術院教授 深澤良彰氏をお招きし、300人以上の参加者を得て開催。講師からは、「生成AIと高等教育機関におけるその活用法 ～拓殖大学を例として～」をテーマに、詳細なお話がありました。参加者アンケートでは「大変参考になった」「参考になった」への回答が97%以上にのぼり、成果の多いワークショップとなりました。



拓殖人材育成 オレンジ募金

「教育ルネサンス2030」の取組、「スポーツ振興強化」の取組、「奨学支援の充実」のためのご支援をお願いいたします。
※寄付金の募集は任意であり、入学年の新入生保護者などは募集対象としておりません。

詳しいご案内は、拓殖大学ホームページをご覧ください。
https://www.takushoku-u.ac.jp/bokin/

「オレンジ募金」に関するお問い合せ先
総合企画部 オレンジ募金係
TEL：03-3947-7377
FAX：03-3947-9940

高額寄付者のご紹介 寄付金累計額100万円以上の寄付者（個人・法人・団体）の方　2023年4月1日～10月31日迄の受入額

〈 企業・法人 〉イー・ライフ・グループ株式会社　代表取締役　小川 義行 様
株式会社青和運輸　代表取締役　青木 茂 様
〈 個　人 〉福田 勝幸 様

令和5年度 募金受入状況
（2023年10月31日現在）

割合は区分毎に小数点以下第2位を四捨五入しています。このため総計と一致しない場合があります。
※1.代表者が卒業生・在学生である企業・法人です。
※2.一人（社等）につき複数回申込の場合、1件としています。
※3.支援目的別の金額指定がない場合は「教育ルネサンス2030」の取組に充当しています。

区　分	合　計				支援目的別（※3）		
					①「教育ルネサンス2030」の取組	②「スポーツ振興強化」の取組	③奨学支援の充実
	金額（円）①+②+③	金額割合（合計）	受入件数（※2）	受入件数割合（合計）	金額（円）①	金額（円）②	金額（円）③
卒業生	2,208,000	19.3%	129	80.1%	1,486,000	352,000	370,000
卒業生保護者	135,000	1.2%	4	2.5%	120,000	5,000	10,000
在学生	7,000	0.1%	2	1.2%	7,000	0	0
在学生保護者	85,000	0.7%	6	3.7%	45,000	20,000	20,000
役員・教職員（退職・非常勤含む）	5,922,000	51.9%	14	8.7%	5,437,000	215,000	270,000
企業・法人（卒業生・在学生）（※1）	2,050,000	18.0%	3	1.9%	1,050,000	1,000,000	0
企業・法人（一般）	1,000,000	8.8%	2	1.2%	500,000	500,000	0
団体等	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0
一般有志	6,000	0.1%	1	0.6%	0	0	6,000
総　計	11,413,000	100.0%	161	100.0%	8,645,000	2,092,000	676,000

オレンジプロジェクト

[Next Step]

第1回オレンジフェスタ ～親子でワクワク体験しよう!拓大の世界～を開催!

7月29日（土）に、文京キャンパスにてオレンジフェスタを開催しました。今年初開催となりましたが、1,019人の皆さまに来場いただき、盛会のうちに終了しました。オレンジフェスタは、Next Stepの発案から実現した企画です。学び・遊びを取り入れて子どもたちとふれあうことで、地域貢献や学生の企画立案力・コミュニケーション力などのスキルアップを目的に開催しました。当日は、各オレンジプロジェクトチームやクラブ・サークルの所属学生が考案した全19ブースが出展。ドローン操縦体験や電気スライムづくり、ヨーヨー釣りなどは大変人気な企画となりました。参加者からは「来年も楽しみにしています」など多くの嬉しいコメントをいただきました。



[T-Lash]

拓大CONNECT～卒業生と繋がろう～を実施!

8月2日（水）、ZoomにてLINEヤフー株式会社で働く澤田亮三さん（デザイン学科2017年卒業）を訪問しました。学年学科問わず8人の学生が参加し、訪問前の事前研修を経て、当日を迎えました。澤田さんはデザイナーとして就職され、インターネットが欠かせない現代社会を最前線で支えてきました。学生たちはそのような先輩の姿に、刺激を受けるとともに今後の就職活動に向けて意識を高めることができました。後期は、株式会社ネクスコ東日本エンジニアリングを訪問予定です。



[Link Bunkyo]

紅陵祭にて「“国”防災展示」を実施!

紅陵祭の一部日程において、自衛隊協力のもと「“国”防災展示」を開催しました。展示ブースでは、実用されている装甲機動車や偵察用のオートバイに触れたり、記念撮影をしたりと行列ができるほどの盛況となりました。また10月28日（土）には、東京防災学習セミナー事務局の協力を得て「関東大震災100年出前講座」を開催。糸井川栄一筑波大学名誉教授を講師に迎え、関東大震災の発生とその教訓や対策、さらには文京キャンパス周辺の防災についての講演が行われました。そのほか、教室では新聞紙スリッパ作成講座や目隠し歩行体験、非常袋の重さ体験を実施し、参加者の防災意識向上に繋がりました。



[CONTIGO]

秋のさつまいも収穫祭を開催!

11月11日（土）、八王子国際キャンパスの農園にて、さつまいもの収穫祭を実施しました。5月に植えた苗がようやく収穫を迎え、今回も、近隣の小学生や農業愛好会の学生、教職員を含む40人以上が参加し、全員で協力して収穫を行いました。掘り起こしたさつまいもは、焼き芋にして秋の味覚を楽しんだほか、学生食堂では採れたてのさつまいもを使ったメニューを提供していただきました。今後も、近隣住民の皆さんが楽しめるイベントを計画していきますので、ぜひご参加ください!



[T-GIRL]

学食コラボメニュー 秋のおもてなしスイーツを販売!

11月6日（月）～10日（金）、八王子国際キャンパスのオレンジカフェにて、OMOTENASHI T-girlsによる学食コラボ『秋のおもてなしスイーツ』を販売しました。食欲の秋にぴったりの限定スイーツは、さつまいもプリンと大学芋を一度に楽しめる「大学芋ぷりん」と、揚げパンの中にホイップクリームと栗のクリーム、そして栗の粒も入った「栗クリーム揚げパン」の2品。どちらもOMOTENASHI T-girlsが考案しました。「とてもおいしかった!」「学食で秋のスイーツを味わえて満足した」など、嬉しい声を聞くことができました。









「紅陵祭」開催レポート

創り出そう新たな祭りを

今年のメインイベントはいかに!?

ご来場ありがとうございました!

10月27日（金）～29日（日）の3日間、
文京キャンパスにて紅陵祭が行われました。
卒業生や保護者の皆さま、近隣住民の方などを
合わせて約5,000人の方にご来場いただきました。
各プログラムの様子を紹介します。















Special Live Report

10.28 SAT
@E館1階 後藤新平・新渡戸稲造記念講堂

紅陵祭 お笑いライブ2023

今年度は2組の芸人さんを迎え、お笑いライブを開催しました。最後にはプレゼント企画もあり、大盛況となりました。

紅陵祭特別企画 拓殖大学マジックショー

マジシャンGOさん（電子システム工学科2017年卒業）によるマジックショーが行われました。さまざまなマジックが披露され、会場は歓声に包まれました。

























受賞団体

拓殖杯

日々の成果を遺憾なく発揮し、主体的に取り組み、紅陵祭を最も盛り上げ、華を添えた参加団体【対象：全企画】

ダンス愛好会（Bloom）
「BLOOMove.-festival-（ステージ企画）」



紅陵杯

団体の特色を活かし、発表形式・内容共に、十分な理解度、完成度を備えた参加団体【対象：教室企画】

演劇研究会
「演劇：どうしたものか（教室企画）」



紅励杯

斬新なアイデアやユニークな企画を盛り込み、来場者の注目を集めた参加団体【対象：ステージ企画】

ジャズ研究会
「ジャズいかがですか?（ステージ企画）」



模擬店賞

野外模擬店企画において斬新なアイデアやユニークな企画を盛り込み、来場者の注目を集めた参加団体【対象：野外模擬店企画】

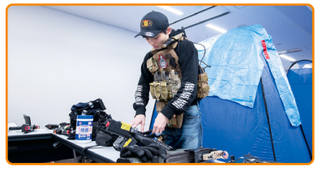
探検部
「謎肉料理（ワニ肉料理：模擬店）」



ゲストセレクション

来場者からの注目を浴び、来場者投票で最も多くの票を集めた参加団体【対象：全企画】

サバイバルゲーム愛好会
「赤外線サバイバルゲーム“B2i”（教室企画）」



審査員特別賞

審査員の印象に残る催しを行った魅力的な参加団体【対象：全企画（対象がある場合のみ）】

アラビア研究会
「なんでも聞いて! 気軽に体験、1日アラブ!（教室企画）」



紅陵祭本部の参加型企画！

TAKUSHOKU UNIVERSITY
紅陵祭本部企画
拓大Walker
~Trick or treat!~



年齢問わず多くの方がスタンプラリーに参加してくれました! 景品として配布したお菓子の詰め合わせは、子供たちに大人気でした。



中央大学、お茶の水女子大学とのコラボ企画である謎解きリレー。他大学とのコラボは初の試みでしたが、大盛況でした!

茗荷谷学園祭
謎解きリレー
～怪獣から茗荷谷を守ろう～

拓殖大学初代校長・桂太郎没後百十年記念回顧展

@E館9階 展望ラウンジ







紅陵祭と同時開催された回顧展では、500人以上の方にご来場いただきました。

Graduate Interview

社会で活躍する拓大生



NAME: SHIRO_MABUCHI

馬淵 史郎（まぶち しろう）さん

明徳義塾高等学校 野球部監督

［PROFILE］

愛媛県出身。1979年拓殖大学政経学部政治学科（現 法律政治学科）卒業。社会人野球の監督を経て、1987年から明徳義塾高等学校の野球部コーチ、1990年には監督に就任。同校の社会科教諭、教頭職を務め、現在はスポーツ局局長。2020年にはWBSC U-18ベースボールワールドカップの監督に就任し、2023年にチームを世界一に導いた。

一芸は万芸に通ず。4年間打ち込めることをひとつ見つけてほしい。

私が明徳義塾高等学校の野球部で監督を務めるようになり、今年で34年目になります。部員は現在134人。全員が同じ寮で暮らしており、毎日が合宿所のような生活です。

私自身、中学から大学まで野球部に所属していましたが、当時、指導者になりたいと思ったことはありませんでした。きっかけは高校時代の恩師に頼まれて、26歳で神戸の企業で社会人野球のコーチを引き受けたこと。3年のつもりが監督も引き受けることになり、4年間続けました。最後の年には都市対抗野球に出場してベスト8に、秋には日本選手権にも出場して準優勝を果たしました。

それを区切りに松山へ帰ったのですが、今度は明徳義塾高校の当時の野球部部長（現 塾長）から誘いを受けました。このとき5回も断ったのですが、一度だけ練習の手伝いに足を運んだところ、高校野球のすばらしさを実感し、すぐにコーチを引き受けました。3年後には監督に就任して、今に至ります。

振り返ると、人に誘われるがまま続けてきた指導者の仕事ですが、引き受けた以上は目の前のことに一生懸命取り組んできました。そのことが評価していただけたのではと考えています。

2020年からは、WBSC U-18ベースボールワールドカップの監督も務めました。コロナ禍で2年連続中止になり、2022年にようやく開催されたときは、第3位で銅メダル。2023年の31回大会では、悲願であった金メダルを獲得しました。

日本の優勝は今回が初めてでしたが、選手たちの乱れのない生活態度や、しっかりした服装・挨拶を見ていて、なんとなく予感はあったのです。野球はチームスポーツなので、技術のみならず生活態度や人間性が大いに結果に関わってくると思います。

高校野球の監督である私の使命は、野球を通じて社会に通用する人間に育てていくこと。21世紀の日本を背負って生きる人になってほしいという思いで日々接しています。

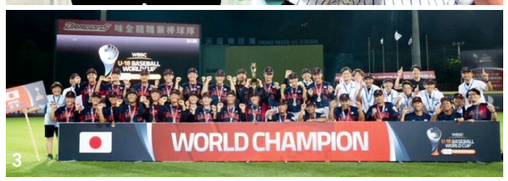
在学生のみなさんには、勉強や課外活動など、多様な面から学びながら、何かひとつ、打ち込めるものを見つけてほしいと思います。「一芸は万芸に通ず」という言葉があるように、打ち込んでいるうちにさまざまなことが見えてくるはずです。


1


2



4



3

大学3年次に学内にて撮影した1枚（1）。2022年に出場した夏の甲子園で選手に指示を出す様子（2）。2023年開催のWBSC-U18で世界一を獲得したメンバーたちと（3）。明徳義塾高校の教え子であり、日本代表メンバーの寺地選手と記念撮影（4）。

〈 馬淵史郎さん SCHEDULE 〉

WEEK DAY

- 22:00 就寝
- 19:00 夕食
  寮か自宅でとります。
- 18:30 練習終了
  授業中の居眠り防止のため、朝練は個人練習のみ認めています。
- 14:30 グラウンド練習
  練習時間は毎日4時間ほど。長期休暇中は早朝から練習することもありますが、普段は午後の練習のみ。
- 12:00 寮で昼食
- 8:00 職員朝礼
  野球部監督のほか、スポーツ局局長として中学・高校の体育会系クラブ全般に関わっています。午前中は職員室でその仕事をします。
- 7:30 登校
  寮、食堂、学校は徒歩5分以内。敷地内に生徒や教職員が暮らしていて、ひとつの街のようです。
- 6:30 野球部員の点呼・朝食
- 6:00 ミーティング
  野球部の寮で、部長やコーチたちと15分程度ミーティングを行います。
- 4:30 起床
  大学時代の寮生活のおかげで、早起きはまったく苦になりません。





ロングインタビューはWEBへ！ https://tac.takushoku-u.ac.jp/

名門・明徳義塾高校の監督であり、第31回WBSC U-18W杯を優勝に導いた父と、2020年から拓殖大学野球部を率いる息子。
同じ「野球監督」という道を歩む2人は、どのような親子なのでしょうか。

NAME: SHIRO_MABUCHI × TSUYOSHI_MABUCHI

Q1 普段はどのような親子関係ですか？

馬淵史郎 ごく普通の親子です。同じ野球の監督という立場なので、アドバイスをすることもありますね。明治神宮野球大会に出場するときは練習のため拓殖大学のグラウンドを借りるので、そのときに顔を合わせたりもします。

馬淵 烈 仲はいいですね。かなり頻繁に電話しています。内容はほとんど指導についてなど野球の話です。



東京ドームでの壮行試合前に家族で撮影した写真

Q2 「野球監督」として、お互いのことをどう思っていますか？

馬淵史郎 野球だけでなく、きちんと社会に送り出せるように人間形成をしてくれると嬉しいです。「4年間野球部をやってきてよかった」と、学生に言ってもらえるような監督になってほしいですね。また、拓殖大学野球部の名前を全国に轟かせてくれることを期待しています。

馬淵 烈 野球はただでさえ厳しい世界ですが、高校野球はトーナメント戦なので特にシビア。甲子園にはすべての試合に勝ったチームしか出られません。勝つための正解もない中で、何十年も監督を続けているのはすごいことだと思います。

Q3 拓殖大学での4年間で特に思い出深いのは？

馬淵史郎 思い出が多すぎてひとつを選ぶのは難しいですが…強いていうなら常に清掃をしていたおかげで、寮の近隣住民の方々に大切にしていただいたことでしょうか。

馬淵 烈 大学最後のシーズンで、2部優勝を果たせたことです。1部昇格には至りませんでしたが、先輩たちの思いを引き継ぎ、後輩にも伝えられてよかったと思います。

Q4 烈監督が母校である拓殖大学に進学したことについて、どう感じましたか？

馬淵史郎 やっぱりうれしかったですね。ただ、拓殖大学はうちに限らず親子2代、3代で入学するという方が多いようです。母校に対する思い入れの強さに加えて、国際社会を志向する教育理念に共感する人が多いのではないでしょうか。

Q5 監督としてやりがいを感じるのはどんなときですか？

馬淵 烈 選手の人間的な成長を感じたとき。日誌を書かせているのですが、それを読んでいると考え方の変化がわかります。うまくいっているときよりも、逆境こそ成長するチャンスなので、仲間同士で励まし合いながら逃げずに乗り越えていってほしいと思います。

Q6 監督として、今後の目標を教えてください。

馬淵史郎 高校野球の4大大会のなかで唯一優勝経験がない春の選抜高等学校野球大会で優勝することと、甲子園にあと1回出場して監督としての出場回数日本一になることです。体力は落ちてきましたが気力はまだあるので、元気なうちはがんばります！



馬淵 烈 2部優勝を果たして1部に上がるのが最重要課題です。秋のリーグ戦では力不足を痛感したので、これからどう伸ばしていくか考えているところです。

厳しい勝負の世界で、自分だけの指導法を確立してほしい。（史郎）

×

監督としてまだまだ修業中。選手から多くのことを学ぶ毎日です。（烈）



馬淵 烈（ま ぶち つよし）さん

拓殖大学 野球部監督

［PROFILE］

高知県出身。2012年拓殖大学国際学部国際学科卒業。高校時代は、父の馬淵史郎氏が監督を務める明徳義塾高等学校野球部において、主将兼エースとして活躍。拓殖大学に進学し、野球部で三塁手を務める。卒業後は社会人野球チーム・シティライト岡山を経て、2015年から拓殖大学野球部コーチに就任。2020年には同監督に就任した。

世界の舞台に立つ！在学生・卒業生

拓大の在学生や卒業生には、世界の舞台で活躍するスポーツ選手がたくさんいます。彼らの活躍に、熱い応援を届けましょう！

File.1 Hiroki SEKINE

関根（せきね） 大輝（ひろき）さん

経営学科 3年（静岡県 静岡学園高校出身）
2025年 柏レイソル加入内定



［ そのほかの出場記録 ］

- 2023年 欧州遠征U-22 日本代表
- 2022年 カンボジア遠征 U-23 日本代表
- 2022年 全日本大学選抜



©KASHIWA REYSOL



2022年 杭州 アジア競技大会

Q 世界大会に出場した時の思い出を教えてください。

日の丸を背負う重圧や責任を感じることができました。決勝トーナメントでは「負けたら終わり」という独特な緊張感の中プレーできたこと、韓国の選手たちとのスピードやフィジカル差を感じたことも良い経験となりました。

Q 今後の目標を教えてください。

決勝戦での試合を通して、自分の武器を伸ばし、課題を克服することを意識してトレーニングしています。今後は柏レイソルでスタメンを取り、1年目から活躍して海外、最終的にはヨーロッパの4大リーグの1つであるプレミアリーグでプレーできるよう頑張ります。

2022年杭州アジア競技大会※

銀メダル

サッカー

※開催日程:2023/9/23（土）～10/8（日）



在学生編





© JUFA



2022年 杭州 アジア競技大会

Q 世界大会に出場した時の思い出を教えてください。

試合では、自分で3得点を挙げられたことが自信となりました。チームとしても高いレベルでのプレーを味わうことができ、楽しい思い出になりました。

Q 今後の目標を教えてください。

世界で戦うためには、個々の能力やフィジカルをもっと上げていく必要があると思います。1日1日を無駄にせず、過ごしていきたいと思っています。この経験を糧に、次の世界大会にも出場できるよう全力で頑張ります。

File.2 Shota HINO

日野（ひの） 翔太（しょうた）さん

経済学科 3年（東京都 堀越高校出身）
2025年 サガン鳥栖加入内定

卒業生編

File.3

Komei SAWADA

澤田 幸明さん（さわだ こうめい）
経済学科 3年
（和歌山県 和歌山北高校出身）

2023年U20世界選手権
レスリング
3位

［ そのほかの出場記録 ］
- 2023年 JOCジュニア オリンピックカップ（U20）優勝
- 2023年 ダン・コロフーニコラ・ペトロフ国際大会 3位
- 2022年 全日本学生選手権　優勝
- 2022年 U20アジア選手権　3位
- 2022年 JOCジュニア オリンピックカップ（U20）　準優勝







今を頑張れば結果は必ずついてくる
金メダルで恩返ししたいです

Q 世界大会に出場した時の思い出を教えてください。

緊張すると思っていましたが、全くそんなことはなく「絶対に優勝する」という思いで、試合に臨みました。結果的には3位でしたが、世界大会で良い結果を出せて嬉しかったです。

2022年 U20 アジア選手権

Q 今後の目標を教えてください。

たくさんの課題が見つかったので、次の試合までに克服するため、練習量を増やしています。拓殖大学に入学したのは五輪に出て金メダルを取るため。今を頑張れば結果はついてくると思うのでレスリングも勉強も頑張りたいです。

File.4

Yu SHIOTANI

塩谷 優さん（しおたに ゆう）
国際学科 4年
（東京都 自由ヶ丘学園高校出身）

レスリング
2022年世界選手権
3位





パリ五輪に出場が目標！応援よろしくお願いします

2016年 世界カデット 選手権



Q 世界大会に出場した時の思い出を教えてください。

中学3年の時に初めて経験した世界大会。とにかく右も左もわからない状況だったことを覚えています。海外経験のある先輩方に、技術だけでなく試合への取り組み方など、色々なことを教えていただき、良い経験になりました。

Q 今後の目標を教えてください。

毎日、たくさんの支えのおかげで、全力でレスリングができていることに感謝しています。卒業後もレスリングを続けます。パリ五輪への出場を決め、勝つことを目標に続けていくので、応援よろしくお願いします。

［ そのほかの出場記録 ］
- 2023年 全日本大学グレコローマン選手権　準優勝
- 2023年 全日本学生選手権　準優勝
- 2022年 ピトラシンスキ国際大会　優勝
- 2022年 世界選手権代表決定プレーオフ　優勝
- 2022年 アジア選手権　優勝

File.5

Kyoka SASAKI

女子バスケットボール
佐々木 杏花さん（ささき きょうか）
経営学科 1年（青森県 柴田学園大学附属柴田学園高校出身）

FIBA 3x3 U18 World Cup 2023
銅メダル



©FIBA3x3

©FIBA3x3

インカレ優勝を達成するためチーム勝利に貢献します



2022年 FIBA女子U17 ワールドカップ

Q 世界大会に出場した時の思い出を教えてください。

高校3年の7月に行われたU17W杯が初めての世界大会です。特に印象的だったのはアメリカとの試合です。選手の迫力やオーラ、シュート確率やハンドリングの凄さなど、全てにおいて圧倒され、刺激をもらうことができる試合となりました。

Q 今後の目標を教えてください。

試合するたびに新しい気づきや課題を得られるので、帰国後の目標も高く持つことができています。世界で戦うと気持ちも強くなっているのを感じます。大学4年間でレベルアップし、世界と互角に戦える選手になりたいです。

［ そのほかの出場記録 ］
- 2022年 FIBA女子U17ワールドカップ女子日本代表 ベスト8
- 2022年 FIBA 3×3 U18ワールドカップ女子日本代表 5位

File.6

Daichi TAKATANI

高谷 大地さん（たかたに だいち）
自衛隊所属
経済学科2017年卒業

profile
京都府出身。2013年全日本選抜選手権のフリースタイル60kg級で優勝。2014年世界選手権フリースタイル65kg級に初出場し、7位に入賞。2023年世界選手権フリースタイル74kg級で3位を獲得し、2024年パリオリンピックに出場内定。兄は2012年・2016年・2021年オリンピック代表選手であり、拓殖大学レスリング部のヘッドコーチを務める高谷 惣亮さん。

2023年世界選手権 3位
パリ五輪レスリング
フリースタイル74kg級
日本代表内定!

［ そのほかの大会記録 ］
- 2022年 世界選手権　10位
- 2022年 アジア選手権　3位
- 2020年 アジア選手権　3位
- 2019年 世界選手権・非オリンピック階級代表決定プレーオフ　2位







世界の舞台を間近で見よう

Q 初めてレスリング世界選手権に出場した時の思い出を教えてください。

兄と一緒に表彰台に立つことをめざして挑みましたが、思うような結果が出ず、ほかの選手の試合を見ながら悔しさを噛みしめたことが印象的です。その悔しさをバネに世界との差を縮めるために努力を重ねてきました。

Q これから世界をめざす後輩たちに向けてアドバイスをお願いします。

世界の舞台で挑戦している人の姿を間近で見る経験が大事です。私も世界大会で活躍している選手を見て、刺激を受けました。トップレベルの人から学べるところを取り入れることが、自らの成長につながるでしょう。

File.7

Jiwon GU

具 智元さん（ぐ じうぉん）
コベルコ神戸スティーラーズ所属
経済学科2017年卒業

profile
韓国出身。身長183cm、体重117kg。日本代表選手としてラグビーワールドカップ2019日本大会、ラグビーワールドカップ2023フランス大会に出場。父はラグビー韓国代表として活躍した具 東春さん、兄は拓大ラグビー部出身の具 智允さん。

［ 過去の所属チーム ］
- 三重ホンダヒート
- サンウルブズ

［ 日本代表キャップ ］
29キャップ

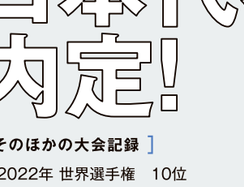
ラグビーワールドカップ2023
フランス大会
出場



© KOBE STEEL, LTD.

W杯での経験が大きな自信に

© JRFU



© JRFU

Q 初めてラグビーW杯に出場した時の思い出を教えてください。

高校2年生の時から夢見ていたW杯の舞台に立つことができ、これまでの頑張りが報われたと感じました。その経験から大きな自信を得ることができ、チームにも貢献したいという思いが一層高まりました。

Q これから世界をめざす後輩たちに向けてアドバイスをお願いします。

学生の頃、練習に励んでいても芽が出るかわからない時期が長く続いていました。辛い時も粘り強く頑張ったからこそチャンスを掴み、今につながっています。皆さんも世界で活躍できるよう、諦めず頑張ってください。

［ そのほかの大会記録 ］
- 2023年　ホクレンDC北見大会　優勝
- 2023年　ホクレンDC網走大会　3位
- 2023年　第51回全日本実業団ハーフマラソン　23位
- 福岡国際マラソン2022　8位

File.8

Akira AKASAKI

マラソングランドチャンピオンシップ2位
パリ五輪男子マラソン
日本代表内定!



© Agence SHOT



© Agence SHOT

日本代表という自覚を持って

赤﨑 暁さん（あかさき あきら）
九電工所属
経営学科2020年卒業

profile
熊本県出身。箱根駅伝は4年連続出場。初マラソンは2022年2月の別府大分毎日マラソン大会で2時間9分17秒。自己ベストは同年12月の福岡国際マラソンでの2時間9分1秒。

Q パリ五輪マラソンの日本代表に内定した気持ちを教えてください。

夢だったマラソン日本代表に内定して、とてもうれしく思います。このような結果が出せたのは、これまでいろいろな方々に支えてもらったおかげです。日本代表という自覚をもって頑張っていきます。

Q これから世界をめざす後輩たちに向けてアドバイスをお願いします。

目標に向かって諦めない気持ちも大事ですが、楽しむことを忘れずに、今できることを一つひとつ丁寧に行うのが一番大切だと思います。みなさん、頑張ってください。応援しています。

RITAKUKAI

麗澤会News

サッカー部

竹田選手が優勝に貢献！

試合名　U20アジア大学トーナメント 全日本大学選抜
開催日・会場　9/7(木)～12(火)　韓国・太白市
試合結果　優勝（多数試合へ出場し優勝に貢献）
竹田 航進（経済学科2年　浜松開成館高校出身）

女子バスケットボール部

リーグ戦で3位

試合名　関東大学女子リーグ戦
開催日・会場　8/26(土)～10/29(日) 国立代々木競技場第二体育館 ほか
試合結果　3位

フェンシング部

2種目でインカレ出場

試合名　関東学生選手権大会
開催日・会場　10/3(火)～12(木) 駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場
試合結果　男子フルーレ 団体戦　12位　インカレ出場決定
男子エペ 団体戦　10位　インカレ出場決定

陸上競技部

総合16位で本戦出場ならず

試合名　東京箱根間往復 大学駅伝競走予選会
開催日・会場　10/14(土)　陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園
試合結果　総合16位　10時間43分16秒

フィットネス愛好会

飯泉選手が9位

試合名　全日本学生 ボディビル選手権大会
開催日・会場　9/30(土)　埼玉県・深谷市民文化会館
試合結果　メンズフィジーク176cm超級　9位
飯泉 凱翔（経営学科4年　大森高校出身）

相撲部

世界選手権大会で日本代表に選出され、優勝！

試合名　世界選手権大会
開催日・会場　10/8(日)　アリーナ立川立飛
試合結果　男子団体　優勝
大将　五島 雅治（国際学科3年　箕島高校出身）

五島選手コメント「優勝できて良かったです。この調子で次のインカレも活躍したいと思います。」



五島選手（左から1番目）

重量挙部

小貫選手が三種目で3位入賞

試合名　東日本学生新人選手権大会
開催日・会場　9/8(金)～10(日)　神奈川県・日本大学生物資源科学部体育館
試合結果　男子60kg級　3位
スナッチ60kg、クリーン&ジャーク105kg、トータル165kg
小貫 裕也（経済学科1年　石岡第一高校出身）

小貫選手コメント「次の大会では自己新記録を出せるように怪我に気をつけ、日々の練習に励んで行きたいです。」



探検部

丹沢キャンプを実施

開催日・会場　9/10(日)～12(火) 神奈川県足柄上郡山北町ウェルキャンプ西丹沢
活動内容　登山（檜洞丸山（標高1601m））、ハイキング、植物観察、キャンプ

大谷主将コメント「コロナ明け、部として初めての合宿で、さまざまな不安がありましたが、誰一人として怪我なく、無事に終えることができて非常に安心しました。この合宿を企画・実行して探検部員同士の団結力が大きく向上したと思います。」

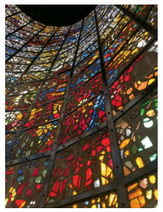


写真研究会

箱根合宿にて撮影会を実施

開催日・会場　9/4(月)・5(火) 彫刻の森美術館、大涌谷、箱根関所、箱根神社

森田会長コメント「コロナ明け、初めての合宿を開催しました。今回は自然豊かな箱根を訪れました。快晴とまではいきませんでしたが、天候にも恵まれて良い撮影会になりました。」



彫刻の森に設置してある塔内部



芦ノ湖で乗船した海賊船

雄弁会

伊藤弁士が聴衆審査員賞を獲得！

試合名　桜門杯争奪全日本学生弁論大会
開催日・会場　10/7(土)　日本大学法学部10号館（神田三崎町キャンパス）
試合結果　聴衆審査員賞
伊藤 胡晴（国際学科1年　幕別清陵高校出身）

吉田会長コメント「コロナ禍で止まってしまった雄弁会がやっと動き出したといえる価値のある賞です。先輩や卒業生など多くの方のお力添えをいただきこの弁論ができています。その方々への感謝を結果として示せたこと、大変嬉しく思います。まだまだ大会は続きますのでこの賞で満足せず次のステージをめざしていきます。」



12月のイベントインフォメーション

剣道部
•12/16(土)・17(日)
全日本学生オープン大会
（石川県・いしかわ総合スポーツセンター）

重量挙部
•12/7(木)～10(日)
全日本大学対抗選手権大会(II部)
（神奈川県・日本大学生物資源科学部体育館）

女子バスケットボール部
•12/2(土)～10(日)
全日本大学選手権大会
（国立代々木競技場第二体育館 ほか）

女子陸上競技部
•12/30(土)
全日本大学女子選抜駅伝競走
（富士山女子駅伝）
（静岡県・富士市～富士宮市）

フェンシング部
•12/2(土)
北岡杯選手権大会
（大蔵第二運動場体育館）

レスリング部
•12/9(土)・10(日)
男子フリースタイル・ワールドカップ
（アメリカ・コーラルビル）

•12/21(木)～24(日)
天皇杯全日本選手権
（国立代々木競技場第二体育館）

※内容が変更になる場合もありますので、詳細は各イベントホームページで確認してください。

課外活動ポータルサイト「拓大Active!」 ››› act.takushoku-u.ac.jp

麗澤会事務局報告

7月8日（土）に文京キャンパスA館3階第1会議室において、2023年度第2回麗澤会常任委員会が開催され、下記のとおり承認されました。

1. 2022年度麗澤会決算について（審議）

1）収入　（単位 円）

前年度繰越金	179,435,005
入会金	2,490,000
会費	58,894,899
受取利息	218
その他の収入	0
合計	240,820,122

2）支出　（単位 円）

事務局	28,463,130
総務局	825,614
文化局	1,978,805
体育局	11,311,157
合計	42,578,706

3）差引次年度繰越金　（単位 円）

配分済次年度繰越金	199,517,899
未配分剰余金	△ 1,276,483
合計	198,241,416

4）現預金計算書　（単位 円）

収入合計	240,820,122
支出合計	42,578,706
差引次年度繰越金	198,241,416
2022年度前受金	16,625,000
差引現預金残高	214,866,416

5）総合貸借対照表　（単位 円）

借方	科目	貸方
958,669	クラブ手許金	
4,739,831	普通預金	
180,044,690	当座預金	
10,000,000	定期預金	
19,123,226	大学預け金	
	前受金	16,625,000
	配分済次年度繰越金	199,517,899
	未配分剰余金	△ 1,276,483
214,866,416	合計	214,866,416

2. 2023年度麗澤会各連合会など登録人数について（報告）

1）団体数

	麗澤会				愛好会	委員会	合計
	総務局	文化局	体育局	事務局			
団体数	4	29	35	2	50	2	122

2）登録学生数

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
麗澤会	700	526	477	357	2,060
愛好会	678	464	403	228	1,773
麗澤会外委員会	27	2	10	0	39
合計	1,405	992	890	585	3,872

重要なお知らせ

「大学入学共通テスト」実施に伴う入構制限

■ 1/13（土）・14（日）は終日文京キャンパス全域（国際教育会館を除く）を利用できません。
■ 「受験生」および「テスト実施関係者」以外の方は入構できません。

令和5年度 学生表彰受賞者



○豊田悌助精励賞

学生賞は、本学の学生のなかで修学および生活態度が優れ、かつ誠実に努力し学生の模範たる者に対して授与する。（「豊田悌助精励賞基金規程」第5条より）

学年	学科	氏名	表彰理由
4年	国際	塩谷 優	体育奨学生として入学し、レスリング部の部員として活動、2・3年次にはアジア選手権グレコローマンスタイル55kg級で2連覇するなど、数々の国際大会で優秀な戦績を収め、現在はレスリング部主将として部を牽引している。一方、学業成績も優秀であり、海外遠征もある中、教員免許状取得に向け努力するなど、学業との両立に向け地道に精励した。

○竹中健二郎奨学金

国際親善に尽くす目的をもって、地域研究・語学研究・学術研究・芸術研究・調査活動・スポーツ活動・奉仕活動・外国人の受入（留学生を含む）を計画・準備中の者、または実施済みの者で成果を収めた学部学生（個人および団体）に対して授与する。

学年	学科	氏名	表彰理由
4年	国際日本語	金 玟廷（韓国）	入学以来勉学に励むと共に、課外活動では美術研究会に所属、母国韓国の文化を日本の学生にも広めたいと愛好会の立ち上げにも貢献した。成績優秀であり、アジア留学生奨学財団の奨学生にも推薦され、財団の行事などにも参加。学内の学生チャレンジ企画、オレンジプロジェクト、清掃ボランティア活動など積極的に活動し、国際交流・国際理解に努めた。

○鎌田昌宏体育奨励金

アマチュア精神・スポーツマンシップに則り、スポーツ活動を通じてその底辺の拡大に寄与し、また体育振興に大きく貢献をし、国内または国際的に評価されるか評価される見込みのある学部学生（個人および団体）に対して授与する。

学年	学科	氏名	表彰理由
4年	国際	竹下 航生	入学以来レスリング部に所属し、学業と課外活動の両立に向け努力し、U23世界選手権大会グレコローマンスタイル60kg級出場、全日本学生レスリング選手権大会グレコローマンスタイル60kg優勝など、優秀な成績を収め本学の体育振興に努めた。

○小林末男外国人留学生賞

本学学部および大学院の外国人留学生のなかで修学および生活態度が優れ、かつ誠実に努力している者に対して授与し、学習意欲の増進に資することを目的とする。（「小林末男外国人留学生奨学基金規程」第3条より）

学年	学科	氏名	表彰理由
4年	国際日本語	尹 光裕（中国）	入学以来留学という厳しい異文化環境の中で学業に励み、八王子実践高校との高大連携講座、および椚田小学校との交流授業などに積極的に取り組むと共に国際交流・国際理解に努めた。

○特別奨励賞

社会奉仕活動、資格取得、学生の模範となる行為・活動、本学の名誉向上、文化および体育活動に於いて特に顕著な成績を収めた個人または団体に授与する。

団体名	表彰理由
チアリーディング部	高尾警察署および地域防犯団体と協力して「痴漢撲滅キャンペーン」、「八王子市民防犯のつどい」、「万引き防止キャンペーン」などの啓発活動に努め、高尾警察署より防犯功労表彰受賞。
ライフセービング部	本年8月28日、千葉県御宿海水浴場における水難事故に際し、男子高校生4人を救助。御宿町長より感謝状が贈呈された。
サッカー部	八王子市館町にある「館ヶ丘児童館」の児童を対象に、毎月サッカー教室の開催および各種交流イベントに参加し、地域と連携を図りながら子供たちの健全育成活動に取り組んだ。

学年	学科	氏名	表彰理由
2年	国際日本語	下田 百花	JYMA 日本遺骨収集団の一員として、硫黄島における遺骨収集活動に参加した。

○文化活動賞

学内の文化活動または学外の各種大会・発表会に於いて優秀な成績を収め、本学文化の発展に寄与した個人または団体に対し授与する。

団体名	表彰理由
政経学部 宮下 量久先生 3年ゼミナール（都市政策パート）	公共選択学会第25回学生の集い 3年生の部 最優秀賞（加藤賞）受賞
政経学部 白石 浩介先生 2年ゼミナール（経済改革パート）	公共選択学会第25回学生の集い 2年生の部 最優秀賞（加藤賞）受賞
工学部　香川 美仁先生研究室	第22回メカトロ設計コンテスト 優勝
工学部　茂木 学先生研究室	第22回メカトロ設計コンテスト 3位

学年	学科・専攻	氏名	表彰理由
令和5年3月 デザイン学科卒業		齊藤 花怜	毎日新聞社・一般社団法人総合デザイナー協会主催「第54回毎日・DAS 学生デザイン賞」プロダクト部門部門賞
機械・電子システム工学専攻 博士前期2年		渡辺 大夢	第19回IEEE TOWERS　サポーター賞受賞
情報・デザイン工学専攻 博士前期1年		成田 瑠七	日本デザイン学会主催「第70回春季研究発表大会」グッドプレゼンテーション賞受賞
4年	デザイン	佐藤 伶	日本デザイン学会主催「第70回春季研究発表大会」グッドプレゼンテーション賞受賞、岐阜県美濃市観光協会主催「第29回美濃和紙あかりアート展」入選
		白石 未来	岐阜県美濃市観光協会主催「第29回美濃和紙あかりアート展」あかりアート賞受賞
		上田 真也	岐阜県美濃市観光協会主催「第29回美濃和紙あかりアート展」ライトアップ賞（高橋理子賞）受賞
1年	国際	髙崎 頼斗	大学コンソーシアム八王子主催「第15回大学コンソーシアム八王子学生発表会ポスター」最優秀賞受賞

○体育活動賞

本学体育の発展に寄与した個人（全国大会優勝・日本代表選手として国際大会に出場）または団体（全国大会優勝・準優勝）に対し授与する。

団体名	表彰理由
相撲部	第62回全国学生相撲選抜宇佐大会　団体の部優勝

学年	学科	氏名	表彰理由
4年	経済	三多見 明	全日本学生レスリング選手権大会グレコローマンスタイル72kg級優勝（レスリング部）
	国際	梅木 優子	シドニーマラソン2023（ハーフマラソン）優勝、第33回かすみがうらマラソン（ハーフマラソン）優勝（女子陸上競技部）
3年	経営	関根 大輝	全日本大学選抜、U23（カンボジア遠征）・U22（欧州遠征）・U22（アジア競技大会／杭州）日本代表（サッカー部）
	経済	澤田 幸明	U20世界レスリング選手権大会（ヨルダン）グレコローマンスタイル63kg級3位（レスリング部）
		日野 翔太	U22（アジア競技大会／杭州）日本代表（サッカー部）
	国際	加藤 陸	第42回ウィリアム・ジョーンズカップ（台北）日本学生選抜チーム（バスケットボール部）
		三浦 哲史	U23世界選手権大会（アルバニア）フリースタイル92kg級出場（レスリング部）
2年	国際ビジネス	須藤 大和	ブレイキン アジア選手権（WDSF Asian Breaking Championship／杭州）日本男子代表（ダンス愛好会 Rude Alive）
	経済	竹田 航進	アジア大学サッカー連盟主催「2023 Taebaek Asian University Football Tournament（韓国）」U20全日本大学選抜メンバー（サッカー部）
	国際	野田 玄	U20アジアレスリング選手権大会（ヨルダン）グレコローマンスタイル67kg級出場（レスリング部）
1年	経営	佐々木 杏花	FIBA 3×3 U18ワールドカップ（ハンガリー）女子日本代表（女子バスケットボール部）
		西 星哉	第45回アンジェロ・ドッセーナ大会（イタリア）U19全日本大学選抜（サッカー部）

○学生活動賞

日々の学生生活において学生の模範となる行為・活動を行った個人または団体を適宜表彰する。

学年	学科	氏名	表彰理由
令和5年3月 デザイン学科卒業		飯塚 帆乃香	毎日新聞社・一般社団法人総合デザイナー協会主催「第54回毎日・DAS 学生デザイン賞」プロダクト部門入選
		中里 柚菜	
		守屋 美紀	毎日新聞社・一般社団法人総合デザイナー協会主催「第54回毎日・DAS 学生デザイン賞」イラスト部門入選
4年	デザイン	國嶋 菜月	岐阜県美濃市観光協会主催「第29回美濃和紙あかりアート展」入選
		遠藤 隆治	岐阜県美濃市観光協会主催「第29回美濃和紙あかりアート展」あかりの町並み賞（奨励賞）受賞
		髙野 夏鈴	
		張 嘉洋	
		土井 菜摘	
		中村 新大	

拓殖大学×朝日新聞「朝日教育会議2023」

10月14日（土）、朝日新聞社と拓殖大学が大型教育フォーラム「朝日教育会議2023」を共催しました。「住み続けられるまちづくりを～関東大震災から100年、暮らしや命を守るために今すぐできること～」をテーマに、講演や学生発表、パネルディスカッションが行われました。

■ 基調講演

気象予報士の目線で防災・減災について語る

第1部では、気象予報士で俳優の石原良純氏による基調講演が行われました。石原氏は最近の異常気象について、グテーレス国連事務総長の『地球沸騰化の時代が来た』という発言に触れ、「日本は自然豊かであると同時に、数多くの自然災害が起こっているが、現在、残念ながら巨大地震の予測はできていない。しかしながら、気象についてはある程度予測できるようになってきた」と気象予報士の目線で、防災や減災について語られました。

「私が小さい頃は祖母に『お盆を過ぎたら海には入ってはいけない』と言われました。土用波が押し寄せ、クラゲも増えてくる頃ですから合理的な話でした。一方、今は秋の気配を感じられるようになったと思うと一方で、まだセミが鳴いている。これはおかしいと感じます。この時期にこれが食べられていたか、この花は咲いていたか、身近なことを指標にすることで、異常気象を我が事として考えることができます」と身近な例を挙げ、自然災害が発生した時は「予報・伝達・避難」の3つが揃って初めて人命が救われると呼びかけました。

「気象予報の技術は格段に上がったが、情報を受け取ったらまずは自助を意識し、それを伝達し、避難をしてこそ命が救われます。予報を受け取るだけでなく、一日一度は空を見上げ、空の変化を感じてほしい」と締められました。



俳優／気象予報士 **石原 良純氏**

1962年神奈川県生まれ。慶應義塾大学経済学部に在学中の1982年、映画「凶弾」でデビュー。1996年3月に気象予報士を取得。日本の四季、気象だけではなく、地球の自然環境問題にも力をいれている。

■ プレゼンテーション

地域における「豊かさ」とは何か、2つの事例からわかること

第2部では国際学部・藍澤ゼミナールの学生による『地域における「豊かさとは何か」を考える』をテーマにしたプレゼンテーションが行われました。国際学部3年のヒシグスレン・ウーガンザヤさんと田中颯馬さんからは、「八王子市館ヶ丘団地暮らし向上プロジェクト」について発表がありました。このプロジェクトでは、約6割の住民が高齢者、半分以上が一人暮らしという団地において、地域住民と防災の仕組みを作る活動や多世代交流などを行いました。災害時に誰が支援をするのかという自治会との話し合いで「支援をする側がいつ支援される側になるかわからない」と想定していなかった反応があったと話し、この言葉の重みを噛み締め、役割を明確に分けるのではなく『臨機応変に誰でも支援する』という考え方に基づいた防災訓練を実施したと言います。「地域の内外、世代を超えて多くの人が関わり合い、相手を気遣う思いやりを超えたところに地域の豊かさが生まれるのではないか」とまとめました。

次に国際学部3年の中本惠梨さんと4年の松村杏美さんが、マレーシア・コタキナバル市ロクウライ村での「ごみに対する意識向上プロジェクト」について発表しました。

この島は貧困層が暮らす地域でもあり、海辺はごみで埋め尽くされていたと言います。とはいえ、暮らしの中でごみはどうしても生じます。それをどこに持っていくのかが問題ですが、行政が機能しておらず、陸地や海に捨てるしかない現状がありました。同プロジェクトでは、ごみ袋を設置する活動やごみ拾い大会を行い、ごみに対する意識を変えていく活動を行ってきました。

「ごみ問題は深刻ですが、住民の生活に対する満足度は高いことが印象的でした」と語り、「住民一人ひとりの経験と力がまちづくりの核となる」とまとめました。

国際学部 藍澤ゼミナール

藍澤ゼミナール（指導教員：藍澤淑雄教授）は、国際協力のあり方について検討するため、理論と現場をつなぐことを大切にしています。国内外の地域で住民とかかわりあい、地域の立場や暮らしを理解しながら、活動を展開中です。

■ パネルディスカッション

防災は「未来へのプレゼント」、愛溢れる行動と思って取り組んで

第3部では石原良純氏、防災アナウンサーで環境省森里川海プロジェクトアンバサダーの奥村奈津美氏、濱口和久拓殖大学防災教育研究センター長のほか、コーディネーターとして朝日新聞論説委員の黒沢大陸氏を迎えてパネルディスカッションが行われました。「自助なくして公助なし」という観点から、防災の基本や災害の専門的知見から新しい防災の形が議論されました。

議論の中では、濱口防災教育研究センター長より「地震発生時の状況を把握して、どのように第一歩を踏み出すかが大切であり、普段から想像しておくことが重要」、石原氏からは「災害時は日常100%の暮らしは不可能なので、何を差し引いて極限状態まで行かずに避難生活を乗り切るのか、イメージトレーニングや訓練をしてみると良い」との意見がありました。さらに「自分の身を守れた後、次は身内の安否が気になる。家族をどう守るか」という問いに対し、奥村氏は「東日本大震災で被災された方から、家族を探す際にいくら説明しても伝わらなかったというお声もあったので、スマホが使えなくなることを想定し、現像した家族写真の裏に各自の電話番号、学校や職場の連絡先などを書き込んだSOSカードを作ることおすすめしている」と提案。また「美味しい防災食もあるので、プレゼントとして送るのも良いのでは」と話し、「防災は未来へのプレゼントであり、大切な人を守りたいという愛の溢れる行動と思って取り組んでほしい」と呼びかけられました。

